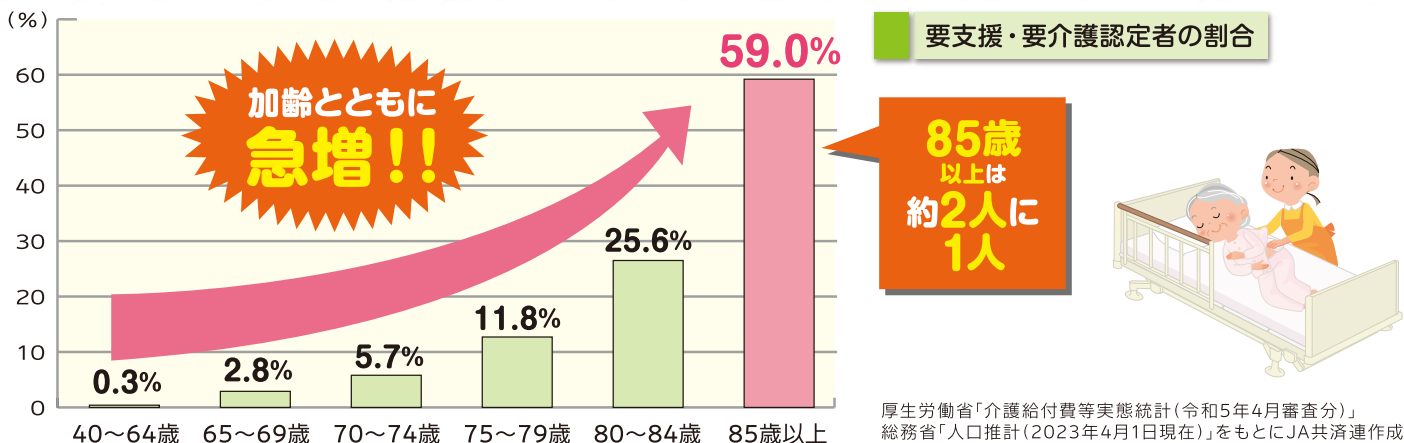
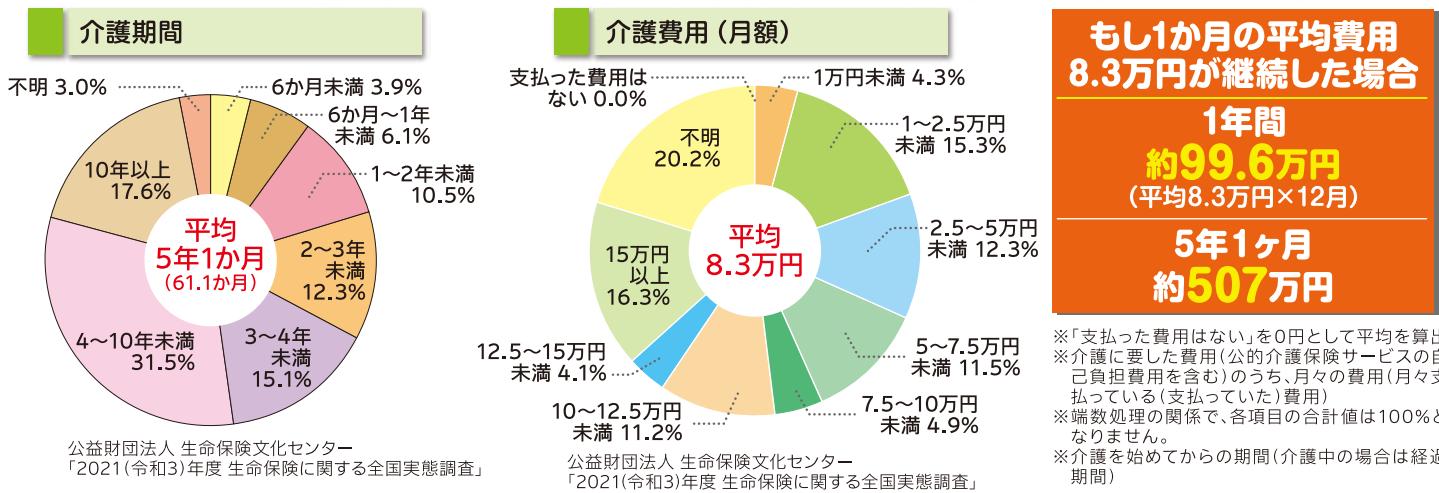


介護について考えてみませんか？

85歳以上の方の約6割が要支援・要介護状態に認定されています。

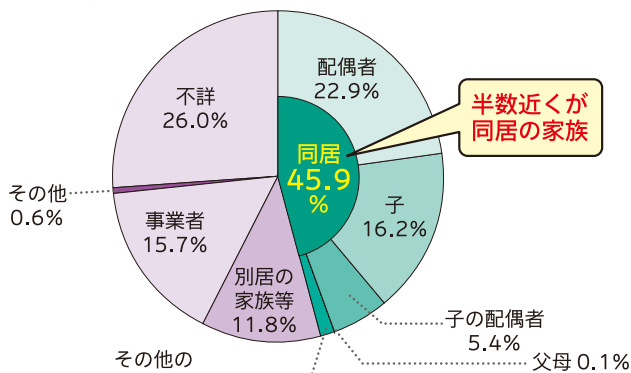


介護費用には、大きな自己負担額が発生します。

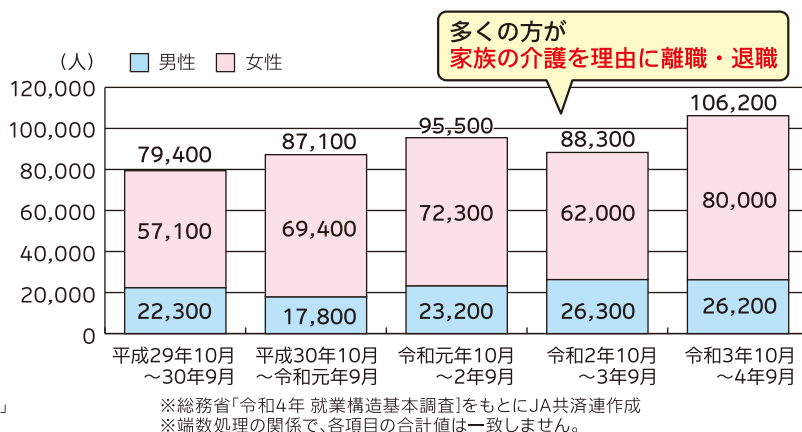


要介護になると家族に介護の負担をかけてしまいます。

おもな介護者と要介護者の関係



家族の介護や看護を理由に離職・退職した人



ご契約例 ◎共済金額:300万円 口座振替扱い 月払い 99歳払込終了

お手頃な共済掛金で、安心の一生涯保障!!




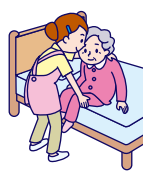

- ① 公的介護保険制度に定める**要介護2~5**
または
- ② 所定の**重度要介護状態**(JA共済独自基準)
になったとき^(注)

介護共済金:**300**万円

一生涯保障

(注)責任開始時以後に生じた病気またはケガによる場合に限りま。 ※この共済には、死亡時における保障はありません。 ※この共済には、解約時の返れい金はありません。 ※介護共済金をお支払いした場合にはご契約は消滅します。 ※この共済の給付にかかわる公的介護保険制度の変更が将来行われたときは、農林水産大臣の承認を受けて、介護共済金の支払事由の変更を行うことがあります。

公的介護保険制度における「要介護状態」の目安

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
状態	生活の一部について部分的に介護が必要な状態 	JAでは「要介護2」から保障します			最重度の介護が必要な状態 (例) 歩行や両足での立位保持がほとんどできない 
		軽度の介護が必要な状態 (例) 立ち上がりや歩行などに何らかの支えが必要 	中等度の介護が必要な状態 (例) 入浴や衣服の着脱などに全面的な介助が必要 	重度の介護が必要な状態 (例) 立ち上がりや両足での立位保持がひとりではほとんどできない 	

※公益財団法人 生命保険文化センター「介護保障ガイド」(2021年7月改訂版)をもとにJA共済連作成

共済掛金例 【ご契約例】共済金額300万円 口座振替扱い 月払い 99歳払込終了

※令和6年4月現在

男性	加入年齢(歳)	女性	男性	加入年齢(歳)	女性
3,267円	40	3,831円	7,287円	60	8,331円
3,873円	45	4,515円	9,462円	65	10,806円
4,677円	50	5,412円	12,720円	70	14,607円
5,766円	55	6,627円	17,871円	75	20,823円

※この共済には、死亡時における保障はありません。 ※介護共済金をお支払いした場合にはご契約は消滅します。 ※この共済には、解約時の返れい金はありません。

介護の保障は、健康な時から将来に向けて備えておくことが重要です。

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

お問い合わせ先